

## 会議録

1 附属機関の名称

犬山市訪問看護ステーション運営協議会

2 開催日時

令和6年2月16日（金） 午後1時30分から午後2時30分まで

3 開催場所

犬山市民健康館 204会議室

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 押谷重昭、榊原吉峰、小川清美、岡村千里、沼靖子、  
長瀬尚美、須田由美
- (2) 執行機関 健康福祉部 高木部長  
健康推進課（西村課長、小川課長補佐、吉野主査）

5 議題

- (1) 犬山市訪問看護ステーション実績等事業報告  
・犬山市訪問看護ステーションの利用実績について  
（令和4年度、令和5年度11月まで）
- (2) その他  
・市内訪問看護ステーションの状況調査結果について

6 傍聴人の数

0人

7 内容

- (1) 委嘱状伝達  
交代した委員に委嘱状を机上配布にて伝達。
- (2) 委員交代による会長選出  
榊原委員の推薦により、押谷委員を会長に選出。  
会議録への署名は、小川委員と須田委員が行うこととなった。

【質疑応答】

長瀬委員：現在の看護師の数、常勤、非常勤の別を教えてください。  
事務局（小川）：現在は常勤2名、パート1名です。

長瀬委員：現在雇用している看護師及び事務員の人権費は市からの委託料で賄われているという解釈でよいか。

事務局（小川）：その解釈でよいと思います。

長瀬委員：県からの補助金は満額きているのか。

事務局（小川）：補助対象経費の2分の1になります。

長瀬委員：県からの補助金は看護師を雇えば誰でももらえるのか。

事務局（小川）：県の補助要件に合致する人であればということになります。

岡村委員：3人の看護師で運営しているが、実際には厳しいのではないかと感じるのか。また、スタッフの数に関して充足していると考えているのか、足りないと考えているのか、そのあたりはどうか。

事務局（小川）：足りているかと言われれば、はいとは言いづらい状況です。現在も看護師を募集している状況です。

岡村委員：利用者の年齢的特徴について教えてください。

事務局（小川）：11月の状況ですが、10代が1名、40代が1名、50代が2名、70代が4名、80代が15名、90代が5名、100歳以上が1名の合計29名で、高齢者のご利用が多い状況です。

岡村委員：収支状況の表について歳入歳出の差額も記載してほしいです。

事務局（小川）：次回からはそのようにします。

長瀬委員：調査結果について、回答者のうち1者は廃止するとのことだが、廃止する理由は把握しているか。

事務局（小川）：把握しておりません。

長瀬委員：公立の単独の訪問看護ステーションは犬山のみとのことだが、市内の状況を見ると市がやる意味がないのではないかと感じる。市内の受け入れ可能人数を見ると市の訪問看護ステーションがなくなっても、他の施設で受け入れ可能ではないかと思う。

岡村委員：数字上の話だけで、いらないとは言えないと思います。現在の状況はぎりぎりのところかもしれないが、利用者が選択することができるのが大事だと思います。保育園などでもそうだと思いますが、何かが起こった時に公の基準に従うことが多いと思います。公の施設として誇りをもって続けてほしいと思います。今日の調査結果報告も数の話ばかりで現場の声が伝わってこない。現場の人にもこの会議に参加してもらって現場の声を聞かせてほしいと思います。

須田？委員：私も今の意見に同感です。数だけでは中身が全く見えません。市内の施設の数が増えているということはそれだけニーズが増えているということであり、個人情報になるのかもしれないが、どのような方がどのようなニーズで利用しているかも知れたらなあと思います。

事務局（高木）：この件は今日結論を出すというものではありません。今後皆さんにお諮りしながら今後の方向性を決めていければと考えております。開設してかなり経過して、今後どうしていくべきか、まずは問題提起とさせていただければと思います。